

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【181】
2. 日時：令和4年5月20日 15時00分～17時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、岩崎安全審査官、服部安全審査専門職、伊藤原子力規制専門員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理）他14名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 主任※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当 他1名※

## 5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、ブローアウトパネル関連設備の設計方針、非常用ガス処理系吸込口の位置変更及び非常用電源設備について、令和4年5月18日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【先行審査プラントの記載との比較表（VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針）】

- MS トンネル室 BOP について、弾性設計用地震動  $S_d$  では開放しないとする要求機能の設定に対し、性能目標では基準地震動  $S_s$  では開放しない設計とするとしている理由を説明すること。

【工事計画に係る補足説明資料（安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書）】

- オペフロ BOP 及び MS トンネル室 BOP に係る閉止装置の設置要否の考え方について、両 BOP の耐震性の違いを踏まえて説明すること。
- オペフロ BOP について、ゴムシートと雨水浸入防止のための水切り板の関係及び雨水の流れを拡大図等を用いて説明すること。
- オペフロ BOP について、雨水浸入防止のための水切り板が、パネルの

開放挙動に与える影響について整理し説明すること。

【工事計画に係る補足説明資料（原子炉格納施設）・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書〈非常用ガス処理系吸込口の位置変更を含む〉】

- 非常用ガス処理系吸込口の位置変更に伴う原子炉建物原子炉棟の地下階から地上階への開口総面積の減少による原子炉建物原子炉棟内の負圧維持達成時間への影響はないとする説明について、実機での圧力測定値を根拠としているが、当該測定位置が与える影響の有無を含めて説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

提出資料：

なし